

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	ここのわ橋本
住 所	相模原市緑区橋本6-31-16
電話番号	042(703)7608

事業所番号	1412606756
管理者名	三浦 理英
対象年度	令和 6年度

(Ⅰ) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		55
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満	○	
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		点

(Ⅱ) 生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	60
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		点

(Ⅲ) 多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度		15
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）	5	点
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

(Ⅳ) 支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している		
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している	○	
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	5	点
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

(Ⅴ) 地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10点
1事例以上ある場合：10点		

(Ⅵ) 経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0点
期限内に提出していない場合：-50点		

(Ⅶ) 利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援 A 型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10点
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数						
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点 90点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点	
多様な働き方	0点	5点	15点				
支援力向上	0点	5点	15点				
地域連携活動	0点	10点					
経営改善計画	0点	-50点					
利用者の知識・能力向上	0点	10点					

合計
165
点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

（Ⅰ）労働時間

前年度（ 6年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	5947:00	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	1,287	人	利用者の1日の平均労働時間数	4:37	時間
-----------------------------	---------	----	-------------------	-------	---	----------------	------	----

（Ⅱ）生産活動

会計期間（ 4月～3月 ）

前々々年度（ 令和4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	6,785,316	円	利用者に支払った賃金総額	4,516,103	円	収支	2,269,213	円
-----------------	-----------	---	--------------	-----------	---	----	-----------	---

前々年度（ 令和5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	6,353,376	円	利用者に支払った賃金総額	6,271,180	円	収支	82,196	円
-----------------	-----------	---	--------------	-----------	---	----	--------	---

前年度（ 令和6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	7,329,609	円	利用者に支払った賃金総額	7,267,078	円	収支	62,531	円
-----------------	-----------	---	--------------	-----------	---	----	--------	---

（Ⅲ）多様な働き方

前年度（ 年度）における取組（全体表「（Ⅲ）多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている	☒
------------------------------	-------------------------------------

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている	☒
------------------------	-------------------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	☐
-------------------------------	--------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	☐
-------------------------	--------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	☐
---------------------	--------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	☒
----------------------	-------------------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	☒
-----------------------	-------------------------------------

（Ⅳ）支援力向上

前年度（ 年度）における取組（全体表「（Ⅳ）支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	☒
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	☒
※研修名	令和6年度神奈川県意思決定ガイドライン研修
研修講師	特定多量利用職法人かながわの障害ケアマネジメント推進ネットワーク
実施日・受講者数	令和6年10月25日 1人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	☒
※研修、学会等名	A型の存在意義を考える
実施日	令和7年2月8日
※学会誌等名	
掲載日	月 日
発表テーマ	A型の存在意義とは何なのか

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している	☒
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	☒
※先進的事業者名	株式会社CFP りうれ
実施日/参加者数	令和6年6月11日 4人
※他の事業所名	サンクス株式会社
実施日/参加者数	令和7年1月30日 1人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	☒
※商談会等名	バックオフィスexpo
主催者名	オフィスexpo東京ビッグサイト
日時	令和7年 1 月 29 日
内容	業務拡大に向けての最新ソフトの情報収集等

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	☐
◎当該人事評価制度を周知している	☐
人事評価制度の制定日	年 月 日
人事評価制度の対象職員数	名
うち昇給・昇格を行った者	名
当該人事評価制度の周知方法	

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	☒
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	☒
※配置期間	2月28日～3月31日
就業時間	8:30～17:30
職務内容	利用者の生活支援

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	☐
※評価を受けた日	月 日
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証を受けている	☐
※認証を受けた日	月 日
規格等の内容	

（Ⅵ）経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。	☒
※受理日	年 月 日

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ここのわ橋本	事業所番号	1412606756
住 所	相模原市緑区橋本6-31-16	管理者名	三浦 理英
電話番号	042 (703) 7608	対象年度	令和 6年度

地域連携活動の概要

<活動内容> 年間を通して実施（提供）されている作業種として、①ペットボトルキャップの分別作業、②CD研磨作業、③業務用ラップ溶融作業、④CD及びDVD箱入れ替え作業、⑤CD破碎作業、⑥LED照明機材の分解・分別他、日々3～6名の中のユニットが支援職員と一緒に、愛川町の都市環境サービス株式会社で就労をしています。就労内容は週5日、9:30～15:30で提供しています。	<活動の様子> ●写真上：CD及びDVD箱入れ替え作業。 大量のCD・DVD・ビデオ・ゲーム等を買ひ物かご程度の大きさのプラ箱に入れ替える作業。積み上げるため平らに詰める・12Kg目安で詰める等の先方からの契約条件がある事に気を付けながら行う難しさがある。 ●ペットボトルキャップの分別作業。 資源として再生できるものできないものの中身を覚えて分別していく。ある程度の速さを求められる。
<目的> 一般企業への就労が難しい方々に対し、雇用契約を結んで生産活動を行い働く場所の提供と、一般企業へ就職するために必要な知識と能力を身につけていただけるように、日々の作業を通して支援を行っています。いわば実践の場としての活動を様々な内容の作業を通してご本人様方に提供しています。	 写真上： C及びDVD箱入れ替え作業
<成果> 成果としては、労働者として「働く意識」を持つことにより、生活の安定のための収入支出の金銭管理・体調（精神含む）の安定のための健康管理・就労の安定の為の時間の管理等を自己管理・責任や自己発信を支援員と連携しながら行っています。 課題点としては、まだまだご自身ではストレングスや障害特性に対する受容の意識を勉強中の方が多いため、どのように自覚し、そこから今後に繋げていくかがあります。	

連携先の企業等の意見または評価

連携先企業様からは、様々な場面で合理的配慮をいただきながら、「だいぶ作業に慣れてきて作業としての動きが身についてきているようだ。作業時の動きが身についてきているようなので、少しずつではあるが生産性を見込めるようになった。」等の社会人としての成長に対してだったり、労働者としての評価に繋がるような言葉を頂けております。支援職員もこまめに声掛けをして、個別支援計画等でご本人様が目標とする「将来」へ繋げるために一丸となってやっております。 今後、他の福祉サービス機関との連携で就職に向けての支援の提供や、経験の蓄積になる新しい作業内容の検討や、より柔軟に対応できる支援職員等を得ながら、事業所として成長して行きたいと思っております。			
連携先企業名	都市環境サービス株式会社	担当者名	前田 隆之

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	このわ橋本	事業所番号	1412606756
住 所	相模原市緑区橋本6-31-16	管理者名	三浦 理英
電話番号	042 (703) 7608	対象年度	令和 6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容> 令和 6 年度神奈川県障がい者ピアサポート研修 <基礎・専門> Aコース 「講義と演習」がセットになった内容。これは、「理屈」と「実際はどうかの」の検証が含まれていた。ピアサポート及びピアサポーターとは何ぞや・在り方・活用の仕方・課題等を、ピアサポーター当事者や支援をしている大学の専門講師他が、各福祉事業所の支援員（健常者）とピア（当事者）が同一グループとなり、具体的に検証（グループワーク）。当事者目線や支援者目線などの双方がある為、多角的に即実践できる意味合いが強い研修カリキュラム。	<活動の様子> <ピアサポート研修 基礎研修 A日程> 1 日目：10月2日（水）/2 日目：10月8日（火） ● 1 日目：神奈川らしさとは ピアサポートの理解（座学・演習） ピアサポートの実際・実例（当事者からの事例発表） ピアサポートの実際・実例（演習） ● 2 日目：コミュニケーションの基本（座学・演習） 障害福祉サービスの基礎と実際（座学・演習） ピアサポートの専門性（座学・演習）
<目的> ピアサポーターをどのように福祉現場に配置していくか、ピアサポート理念の根底にあるものはどのようなものかを理解し、また実行に繋げることでどのような結果や社会的効果があるのかを考える機会の提供。加算対象としてだけではなく、未配置の事業所にも配置を促す効果も含まれる。	<ピアサポート研修 専門研修 A日程> 1 日目：2月20日（木）/2 日目：2月27日（木） ● 1 日目：基礎研修振り返り ピアサポーターの基礎の専門性（座学・演習） ピアサポートの専門性の活用（座学・演習） 当事者（ピア向け）関連する保健医療福祉施策の仕組みと業務の実際（座学・演習） 支援員向け ピアサポートを活用する技術と仕組み（座学・演習） ～上記内容を共有～ ● 2 日目：当事者（ピア向け）ピアサポーターとしての働き方・労働法規（座学・演習） 支援員向け ピアサポートを活かす雇用（座学・演習） ～上記内容を共有～ セルフマネジメントとバウンダリー（座学・演習） チームアプローチ（座学・演習）
<成果> 「ピアサポートを理解しピアサポーターを活用（配置）。」がひとくくりではなれない現実がよくわかった。A型事業所の利用者は「労働者」である為、ある程度の自立度を求められているし、既にお持ちの方がいらっしゃる。そのため、課題としては、個々の障害特性の理解をしたり支援となると、更なるスキルが必要になるかと思われる。ただし、利用者の傾聴や服薬・体験談の共通事項などからの共感姿勢のメリットについてはぜひとも役立てていきたいと思う。	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価 ・ 連携企業：主催：神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市 ・ 主管：公益財団法人かながわ福祉サービス振興会
事業所等の意見または評価 受講カリキュラム内容のピアサポーターの存在が必要だと分かった事、事業所に配置があったら「支援員が携わりにくい支援」の提供にも幅が広がっていくと思われる事については一定の評価が出来る。同時に、事業所を管理する側としては、A型事業所としてその「雇用内容」の難しさの解消も同時に整備していかなければならない課題であると思う。事業所とピアサポーターが上手に連携し支援を提供出来る・運営を円滑にしていくには「ピアサポーターの範囲」を広げ、事例の共有やフォローアップの充実もあるとよいと思った。

利用者からの意見・評価

「いろいろと勉強できたことは良かった。難しいところが多かった。通訳とスライドと口話と、内容を聞き取るのが忙しかった。障害者との話し方がわかった。自分の障害の不便さもわかった。手話では通じないので、ホワイトボードを使用してみようと思う。」等が、研修後の面談時の気持ちとして教えてもらった。 ※支援員より。今回の受講において、利用者の経験値や仕事への取り組み方をみて人選をしたのだが、まずは参加する利用者の障害特性上のハードルが高かったように感じる。聴覚障害者（知的障害の重複）なのだが、通訳者のご準備やスマホ持ち込みでのコミュニケーションはさせていただいき有難かった。研修前にはテキストの単語調べを徹底的に行い、演習経験がない為、演習を想定し「仮想 質問」でのコミュニケーション場面を経験していただいたり、かなり事前準備を行った。それでも、進め方が早かったように感じたので、もう少しカリキュラム内容の要点への理解がしやすいように工夫をしてくださると参加しやすいと思った。
--